



新年度がスタートし、あっという間に一ヶ月が過ぎました。  
キッズと合わせて 49 名！の新入園児さんをお迎えしました。  
毎年、泣いている時間が短くなっているのを感じています。  
全クラス！！新しいクラスでの懇談を終え、親子で仲間づくりを  
充実させて頂きたいと思います。3 名の新卒保育教諭も、  
社会人一年生の四月を皆様に温かく支えられ、  
笑顔と元気で過ごしております。  
良い季節がやってきます。皆で十分に楽しみたいと思います。



～三年目の「巣」里帰り～

～ アドラーより ～

## 正の注目と負の注目

### 1. 正の注目

<正の注目>とは、子どもの行動に対して親が、喜びや親しさのようなプラスの感情をもって関心を示すことです。  
そのような感情をもって、「うまくできてよかったね」とか「あなたのおかげで助かった」というような言葉をかけると、子どもは、「私は能力があるんだ」とか「親は私の仲間なんだ」とか感じて、進んで適切な行動をするようになるでしょう。

### 2. 負の注目

<負の注目>とは、子どもの行動に対して親が、怒りや不安のようなマイナスの感情をもって関心を示すことです。  
そのような感情をもって、「何度言えばわかるの」とか「ちゃんとしなさい」というような禁止や命令や処罰の言葉をかけると、子どもは、「私は能力がない」とか「親は私の仲間じゃない」とか感じるかもしれません。

しかしそれでも、「親は私に注目してくれているので、まったく見捨てたわけではないのだ」と感じるでしょう。そこで不適切な行動をして親の注目を引こうとするようになるかもしれません。

### 3. 無視された子ども

もし、あなたが正の注目も負の注目も得られず、人から無視された場合、どんな風を感じるでしょうね。これは、人間にとって、もっともつらい体験です。あなただけではなく、子どもにとってもそうなのです。子どもは、無視されるよりは、負の注目をされてでも関心を引きたいのです。不適切な行動をくり返す子どもは、「いくら適切な行動をしても、親は正の注目を与えてくれない。自分はいつも仲間はずれだ。だから不適切なことをして、せめて負の注目を得よう」と考えているかもしれません。

### 4. 権力争い

親が子どもに負の注目を与えると、子どももまた怒りなどのマイナスの感情で反応することがあります。これに親が反応して、怒りなどのマイナスの感情を高ぶらせ、さらに負の注目を与えると、悪循環に陥ります。この状態を<権力争い>といいます。権力争いがある限り、子どもを援助することはできません。あなたが最初にしなければならないことは、子どもとの権力争いをやめることです。